様式３(2020.08改)

作成日　令和　4年　5月　11日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391500580
事業所名	グループホームかなれ

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会に加入し、回覧板で情報を得ている。資源回収の協力や地域の商店、飲食店などの利用、散歩時や近隣の方との挨拶、地域サロンの参加など地域とのつながりを大切にしているが、新型コロナウイルスの感染防止のため自粛状態が続いている。中学生の職場体験の受け入れや、地域ボランティアの受け入れも中止としている。現状では、お天気のいい日に散歩に出かけ近所の方と挨拶を交わし交流できるよう努めている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	今年もコロナ禍により2か月に1回、職員参加による書面開催としている。入居者家族、自治会長、民生委員、連携病院の相談員、薬剤師、いきいき支援センターの職員に案内は出している。議事録には運営状況や活動内容、事故報告やヒヤリハットなどを報告している。参加者からの意見や提案等は協議してサービスや技術の向上に活かしすよう努めている。議事録は委員に届けているが家族には送付していない。	×
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	行政との連絡はメールや電話などが多くなっている。行政担当窓口には介護保険更新の手続きや申請の代行業務、市の助成金などの手続き等で訪問した折に、情報交換をしたり入所事例などで指導や助言を得るなど良好な協力関係を築いている。コロナ禍により市主催の事業者講習会や研修は中止となっている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	入居者からは日々の関わりの中から思いを聞き、申し送りノートに記録して職員間で共有しケアに繋げている。家族には電話で入居者の日々の様子を伝えたり要望等を聞いたりして運営に反映させるよう努めている。家族からは、コロナ感染症の状況を確認しながら感染対策をして玄関での面会時に様子を伝えたり意見や要望を聞く努力をしているものの、入居者の日常の様子が家族に伝わりにくくなっている。入居者と家族を繋ぐラインとして、電話連絡や写真郵送だけに留まらず、入居者の今の暮らしの様子を写真にし、コメントやエピソードなどを添えたお便りなどを配布し、家族に安心感を届けたり信頼感が保てる人的環境なども整えていくことを課題としている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		×

【備考欄】

運営推進会議は新型コロナウイルス禍において今年も書面での開催としているが、会議録は家族へ配布をしておらず情報のパイプが途切れた状況となっている。家族とは玄関での面会を実施している。家族からは面会の他に、届け物の時や必要に応じて電話で入居者の日々の様子を伝えたり要望等を聞いたりしてケアに活かすように努めているが、家族からの反響は今年も好ましくなく、日々の暮らしの様子を写した写真やコメントを添えた情報提供の工夫を課題としている。昨年自粛していた日々の散歩は再開し、外気に触れる機会を大切にしたケアに心がけている。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	×	×									